テスト方針

項目

テスト・フェーズ全体の構成

各テストの位置付けや目的、方法

テストの開始・完了基準

テストケースの定義方法

テストツールと使用データ

テストを実施する組織計画

テスト・フェーズ全体の構成

テストは以下のフェーズで行う



各テストの目的や方法

単体テスト　目的：個々のモジュール単位で独立して行うテストし、各モジュールが持つべき機能の検証や妥当性確認する

　　　　　　方法:ブラックボックステストやホワイトテストを行う

結合テスト　目的：複数の関連するモジュールを結合する際に発生するエラーの検出

　　　　　　方法:モジュール間の接点が機能するのかを調べるトップダウンテストやボトムアップテスト

総合テスト　目的：すべてのプログラムを結合し、システム全体が仕様通りに実現されているかどうか検証を行い、妥当性確認をする

　　　　　　方法：機能・性能・操作性・負荷耐性・障害回復

検収テスト　目的: 使用する際にできるかどうかを検証し、妥当性確認を行う

　　　　　　方法:システムの引き渡し時の承認テスト、引き渡し後の運用テストを行う

テストの開始・完了基準

開始基準

　・テスト環境が利用できる状態になっているか

・テストツールが利用できる状態になっているか

・テストコードが利用できる状態になっているか

・テストデータが利用できる状態になっているか

終了基準

　スケジュールの終了日を持って終了する

<https://webrage.jp/techblog/test_management_03/>

テストケースの定義方法

各テストアイテムに対して入力、予想される結果、実行状態を文章化する

想定されるユーザーの使い方から必要なテストの要件や、手順、具体的な方法などを文章化する

<https://webrage.jp/techblog/testcase_point/>

テストツールと使用データ

テストツールはJunit

<https://eng-entrance.com/junit>

参考:ソフトウェア工学Ⅱテスティング